

# 1. IT人材育成強化加速事業

資料 1 - 2

平成21年度要求額 1.57億円(新規要求)

## 事業の概要

- 文部科学省と連携した産学人材育成パートナーシップの下、昨年11月に設置した情報処理分科会で検討した内容を具体化。
- IT人材の不足は深刻な状況であり、それを打開するために産学連携によって早急に取り組むべき教員強化等の施策を展開する。

### (1) 産学連携IT教員強化事業

産業界出身教員は体系的な教育トレーニングを受けていない



産業界出身教員候補者に対する教育プログラムの開発

従来のインターンシップは短期研修的で開発現場を未体験



教員・学生の実践的な開発現場へのインターンシップの展開

### (2) 専門家コミュニティ活動支援事業

学生がIT産業に魅力を感じない



IT技術者のキャリアパスモデル(モデルCDP)の策定・広報

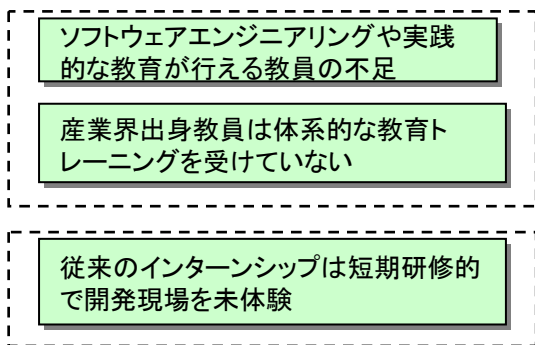
### (3) CIO育成カリキュラム策定事業

CIOのスキルや育成手法が体系的でない

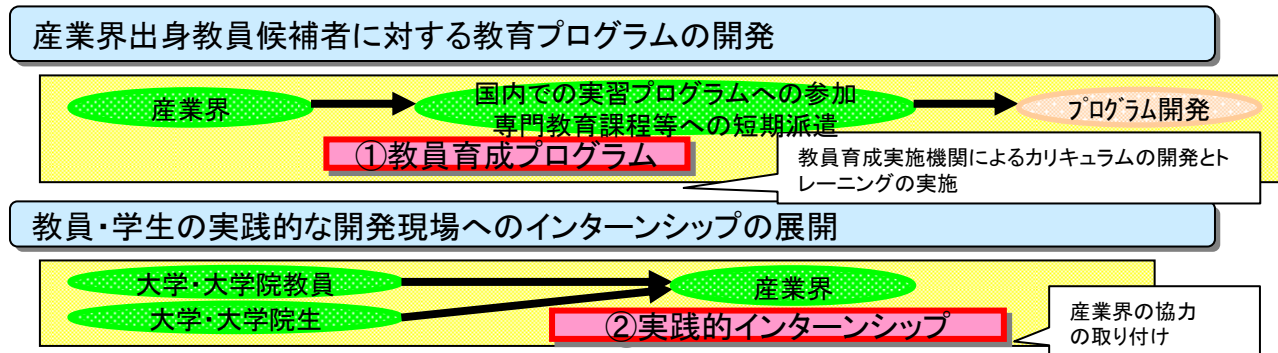


CIO育成カリキュラムの策定

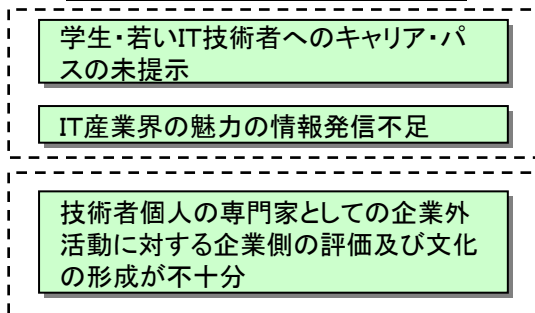
### (1) 産学連携IT教員強化事業 産学のIT教員の課題



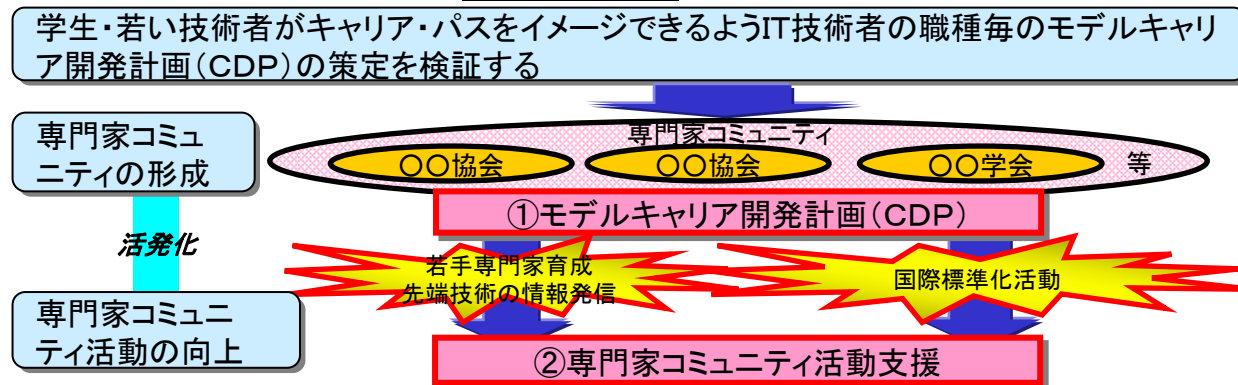
#### 基本スキーム



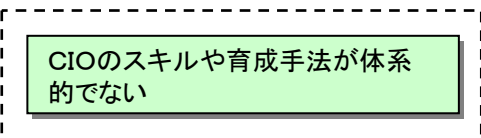
### (2) 専門家コミュニティ活動支援事業 専門家コミュニティの課題



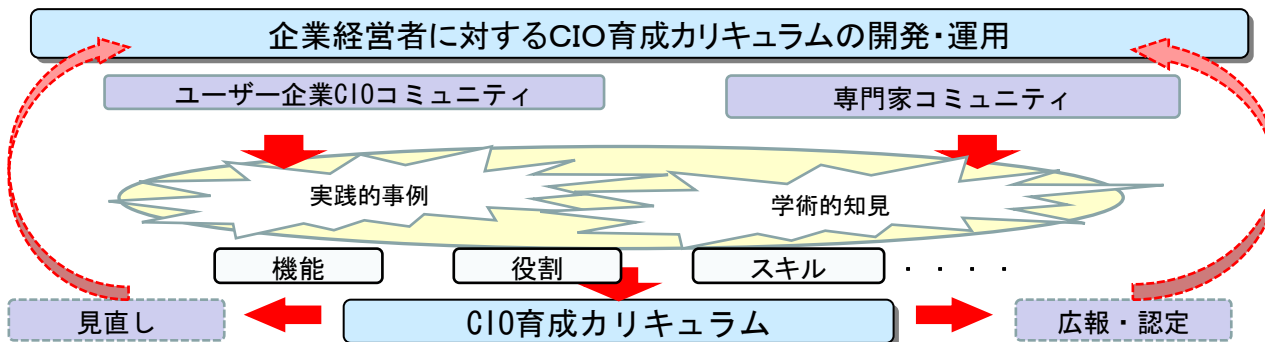
#### 基本スキーム



### (3) CIO育成カリキュラム策定事業 CIOの課題



#### 基本スキーム



## 2. 高度IT人材育成基盤事業

平成21年度要求額 12.9億円 (前年度予算額 11.3億円)

### 事業の概要

- IT人材を育成するための共通基盤の整備が不十分。
- 独創的な技術やビジネスシズを有する、将来を担う個人が埋没。
- 初等中等教育段階からITを、体系的に教える基盤・仕組みが未整備で、若者のIT産業離れが深刻化。



○我が国IT産業及びIT利用産業の国際競争力強化に必要な高度IT人材を育成するための基盤を整備する。

#### (1) 人材育成関連ツール整備・普及事業

人材育成・評価のツールとなるスキル標準を更に充実し、国際標準化に向けて整合化を進めるとともに、アジア11ヶ国・地域と相互認証した情報処理技術者試験の普及活動やITスキル標準のアジアにおける導入支援などを促進。

#### (2) スーパークリエイター発掘・支援事業

創造性に優れた突出した人材を発掘し、ソフトウェア開発を通じて育成するとともに、ビジネスパートナーとのマッチングの場などを提供。

#### (3) 早期IT人材育成事業

夏期休暇期間を利用した合宿形式の講習会（セキュリティ・キャンプ）を行うなど、将来のIT産業を担う若者に対して早期のIT教育を実施。